

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 26 年 8 月 7 日 (2014.8.7)

【公表番号】特表 2013-506795 (P2013-506795A)
 【公表日】平成 25 年 2 月 28 日 (2013.2.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-010
 【出願番号】特願 2012-532647 (P2012-532647)
 【国際特許分類】

F 0 2 C 7/236 (2006.01)

F 0 2 C 7/228 (2006.01)

F 2 3 R 3/28 (2006.01)

【F I】

F 0 2 C 7/236

F 0 2 C 7/228

F 2 3 R 3/28 A

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成 26 年 6 月 23 日 (2014.6.23)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 0 8
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 0 8】

本目的は、低圧供給ラインによって高圧圧送システムに接続された低圧圧送システムを備えた航空エンジンのための燃料供給回路であって、高圧圧送システムが、高圧の燃料を燃料噴射装置およびエンジンの可変形状部材を作動させるための作動装置に送出するために、エンジンによって同時に駆動される第 1 および第 2 の容積型ポンプを有する、燃料供給回路において、

第 1 のポンプの出口に接続された供給オリフィスと、第 2 のポンプの出口に接続された高圧の送出オリフィスと、燃料戻り管によって低圧供給ラインに接続された低圧の送出オリフィスとを有する油圧作動装置であって、供給オリフィスが、作動装置の摺動体の位置に応じて高圧送出オリフィスまたは低圧送出オリフィスに接続されることが可能である、油圧作動装置と、

シリンダ内で摺動することができ、シリンダの内側容積を、シリンダの端部に位置し、サーボ弁に接続された 2 つの制御室と、支承面の間に位置する 2 つの通過セクションとに細分する 3 つの支承面を担持する摺動体を有し、通過セクションの 1 つが、高圧圧送システムの出口に接続され、燃焼室の燃料噴射装置に通じており、他方の通過セクションが、高圧圧送システムの出口に接続され、油圧作動装置の高圧パイロット室に通じている、燃料計測ユニットとをさらに備え、作動装置がまた、燃料戻り管に接続された低圧パイロット室も有し、作動装置の摺動体の移動を制御するために、作動装置のパイロット室内にかけられた圧力が互いに対抗することを特徴とする、燃料供給回路によって達成される。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】全文
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

低圧供給ライン（２０）によって高圧圧送システム（１８）に接続された低圧圧送システム（１２）を備えた航空エンジンのための燃料供給回路（１０）であって、高圧圧送システムが、高圧の燃料を燃焼室の燃料噴射装置（２４）およびエンジンの可変形状部材を作動させるための作動装置（２８）に送出するために、エンジンによって同時に駆動される第１および第２の容積型ポンプ（１８ａ、１８ｂ）を有する、燃料供給回路において、

第１のポンプ（１８ａ）の出口（４０ａ）に接続された供給オリフィス（ＯＡ）と、第２のポンプ（１８ｂ）の出口（４０ｂ）に接続された高圧の送出オリフィス（Ｕ１）と、燃料戻り管（４２）によって低圧供給ラインに接続された低圧の送出オリフィス（Ｕ２）とを有する油圧作動装置（２００）であって、供給オリフィスが、作動装置の摺動体（２０２）の位置に応じて高圧送出オリフィスまたは低圧送出オリフィスに接続されることが可能である、油圧作動装置（２００）と、

シリンダ内で摺動することができ、シリンダの内側容積を、シリンダの端部に位置し、サーボ弁（３４）に接続された２つの制御室（１１０、１１２）と、支承面の間に位置する２つの通過セクション（１１４、１１６）とに細分する３つの支承面（１０４、１０６、１０８）を担持する摺動体（１０２）を有し、通過セクションの１つ（１１４）が、高圧圧送システムの出口に接続され、燃焼室の燃料噴射装置に通じており、他方の通過セクション（１１６）が、高圧圧送システムからの出口に接続され、油圧作動装置の高圧パイロット室（Ｐ１）に通じている、燃料計測ユニット（１００）とをさらに備え、作動装置がまた、燃料戻り管に接続された低圧パイロット室（Ｐ２）も有し、作動装置の摺導体の移動を制御するために、作動装置のパイロット室内にかけられた圧力が互いに対抗することを特徴とする、回路（１０）。

【請求項２】

油圧作動装置（２００）の高圧パイロット室（Ｐ１）が、低圧圧送システムの上流側の燃料供給回路に接続され、中にばね（２０６）が配置された中間パイロット室（Ｐ３）と連通することを特徴とする、請求項１に記載の回路。

【請求項３】

高圧圧送システムの出口を低圧供給ライン（２０）に接続する燃料戻りライン（３０）と、燃料戻りライン上に配置された調節弁（３２）とをさらに含むことを特徴とする、請求項１または２に記載の回路。

【請求項４】

逆止弁（５０）が、油圧作動装置（２００）の高圧の送出オリフィス（Ｕ１）と第２のポンプ（１８ｂ）の出口（４０ｂ）との間に配置されることを特徴とする、請求項１から３までのいずれか一項に記載の回路。

【請求項５】

第１のポンプ（１８ａ）が、第２のポンプ（１８ｂ）のものより大きい圧送容量を有することを特徴とする、請求項１から４までのいずれか一項に記載の回路。

【請求項６】

請求項１から５までのいずれか一項に記載の燃料供給回路（１０）を含む航空エンジン。